



2017年3月期第3四半期 決算説明会

2017年2月1日

カシオ計算機株式会社

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。
従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

連結決算概況

単位：億円

連結	'15/3Q	'16/3Q	前年比
売上高	878	759	86%
営業利益	118	69	58%
利益率	13.5%	9.1%	
経常利益	116	65	56%
当期純利益	94	42	45%
EPS	35.96円	16.73円	

'15/1-3Q	'16/1-3Q	前年比
2,618	2,326	89%
335	204	61%
12.8%	8.8%	
333	147	44%
248	106	43%
94.94円	41.64円	

セグメント別実績 売上・営業利益

単位：億円

売 上 高	連結	'15/3Q	'16/3Q	前年比
	コンシューマ	769	652	85%
	システム	86	86	100%
	その他	23	21	91%
	合計	878	759	86%

	'15/1-3Q	'16/1-3Q	前年比
	2,258	1,982	88%
	296	278	94%
	64	65	101%
	2,618	2,326	89%

営 業 利 益	コンシューマ	140	86	62%
	システム	▲ 12	▲ 8	-
	その他	1	1	-
	調整額	▲ 10	▲ 11	-
	合計	118	69	58%

	389	257	66%
	▲ 21	▲ 22	-
	▲ 1	3	-
	▲ 32	▲ 34	-
	335	204	61%

為替影響について

為替感応度 (主要通貨)	為替前提 (年間)	1円変動による影響額(年間)	
		売上高	営業利益
米ドル	108.20円	10億円	—(※1)
ユーロ	118.00円	3.5億円	2.5億円
人民元	16.00円	18億円	12億円

※1 ドル円は輸出・輸入がほぼ均衡しており影響軽微

為替レート実績 (前年差)	上期	第3四半期
	米ドル	105.30円(-16.50円)
ユーロ	118.20円(-16.90円)	117.80円(-15.20円)
人民元	15.90円(-3.50円)	16.00円(-3.00円)

為替影響額(対前年) (含むその他諸通貨)	上期	第3四半期
	売上高	⊖150億円
営業利益	⊖70億円	⊖25億円

第3四半期の概況

時計事業

売上：463億円

- ・好調持続、計画線で推移

→現地通貨ベースで前年同期比7%増収、利益率 21%

教育事業

売上：145億円

＜電卓・電子辞書＞ 売上教育の約75%（電卓:約50%、電子辞書:約25%）

- ・電卓は好調持続、計画線で推移

→現地通貨ベースで前年同期比6%増収、利益率15%

＜楽器＞ 売上教育の約25%

- ・マス市場から教育市場への重心シフトの過渡期

- ・品質問題による生産遅延

→4Q以降は生産拠点の抜本的強化で挽回

デジタルカメラ事業

売上：43億円

- ・中国のTRが一時的に競合製品の台頭により低迷したが4Qに新製品投入で挽回

2017年3月期計画

単位：億円

連結	'15/4Q実績	'15/通期実績	'16/1-3Q	'16/4Q計画	前年比	'16/通期計画	前年比
売上高	904	3,523	2,326	974	108%	3,300	94%
営業利益	87	422	204	101	116%	305	72%
利益率	9.6%	12.0%	8.8%	10.4%	-	9.2%	-
経常利益	77	411	147	108	140%	255	62%
当期純利益	64	312	106	74	115%	180	58%
EPS	24.66円	119.72円	41.64円	29.76円	-	71.06円	-

	4Q為替想定レート
USD	113.00円
EUR	118.00円
人民元	16.30円

セグメント別売上・営業利益

単位：億円

		連結	'15/通期実績	'16/1-3Q	'16/4Q計画	'16/通期計画	前年比
売上高	コンシューマ		3,010	1,982	853	2,835	94%
	システム		427	278	118	396	93%
	その他		86	65	4	69	80%
	合計		3,523	2,326	974	3,300	94%
営業利益	コンシューマ		490	257	124	381	78%
	システム		▲ 18	▲ 22	▲ 9	▲ 31	-
	その他		0	3	▲ 3	0	-
	調整額		▲ 49	▲ 34	▲ 11	▲ 45	-
	合計		422	204	101	305	72%

時計：通期売上1,760億円 前年売上水準を確保 現地通貨ベースで9%増収 利益率20%

教育：通期売上870億円 8%減収(現地通貨ベースで同水準) 利益率6%

電卓・電子辞書 売上643億円 前年売上同水準(現地通貨ベースで8%増収)利益率12%

デジタルカメラ：通期売上200億円 計画線で推移

2016年度第4四半期以降の重点施策

<時計事業>

■「新世代の世界電波時計」を大幅拡大

カシオ独自の技術をG-SHOCKをはじめとした6ブランド製品すべてに搭載し飛躍的にシェア拡大

■スマートアウトドアウォッチは来期初にGPS搭載の新製品発売(PRO TREK Smart)

GPS搭載により、アウトドアにおいてスマートフォンなしで単独で使用可能

■中国、途上国における売上大幅拡大

- ・中国 ラインアップの大増強
- ・ASEAN タイの成功事例を他地域へ展開
- ・インド 専売店、デパート営業基盤の強化(現状から倍増)

■グローバルプロモーション

- ・Shock The World 第2弾の全世界展開
- ・バーゼルフェア及び空港プロモーションにより、新世代世界電波を徹底訴求
- ・WEB上でブランド発信強化(動画、SNSを活用し拡散)

■スマートアウトドアウオッチのスポーツ流通拡大

<教育事業>

学生市場の拡大

■関数電卓

- ・関数電卓の普及率の低いエリア(中南米、ASEAN、アフリカ)に対し、
学校販売ルート開拓強化

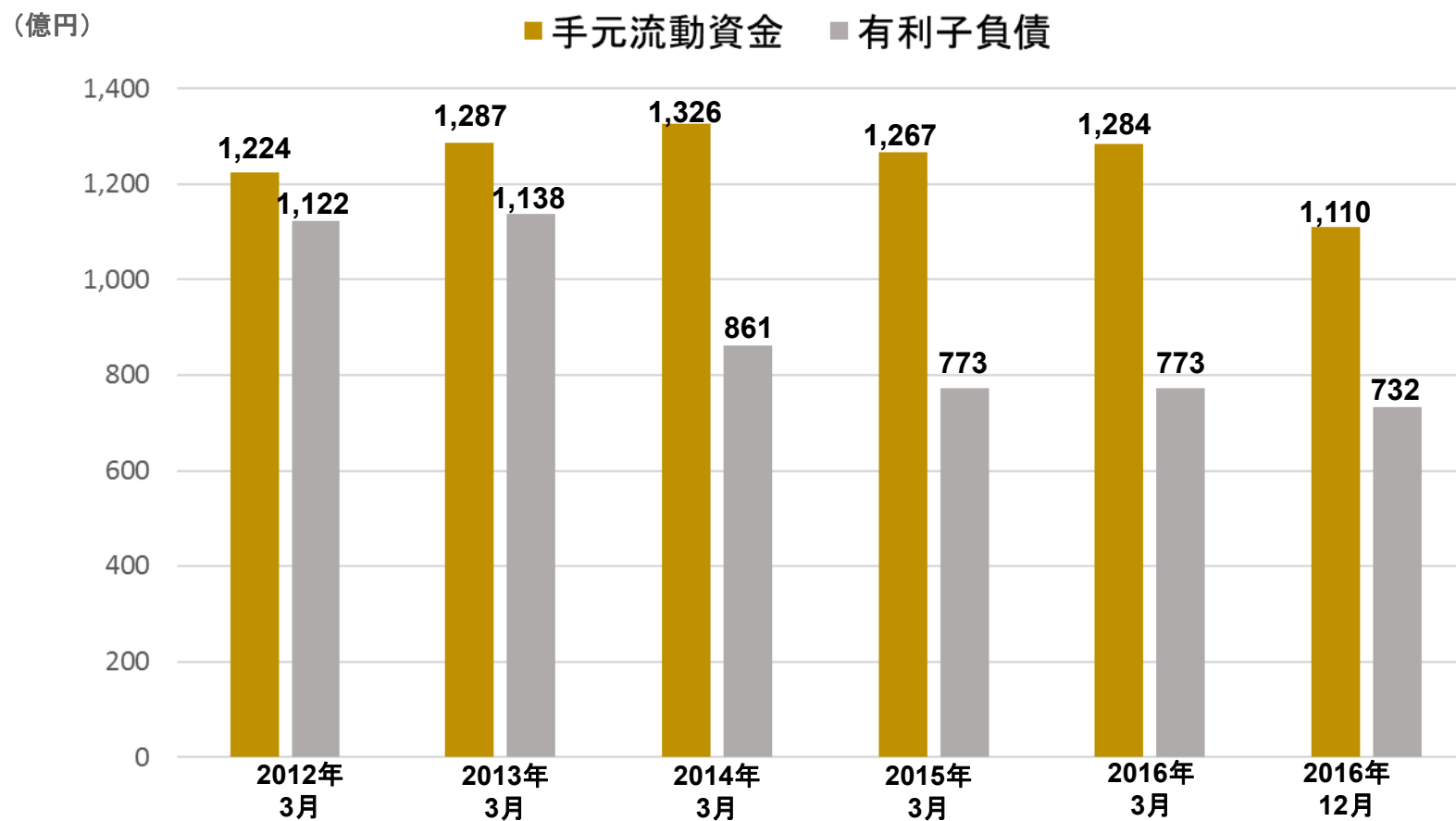
社会人向け新しい教育市場の確立

■英会話学習ツール

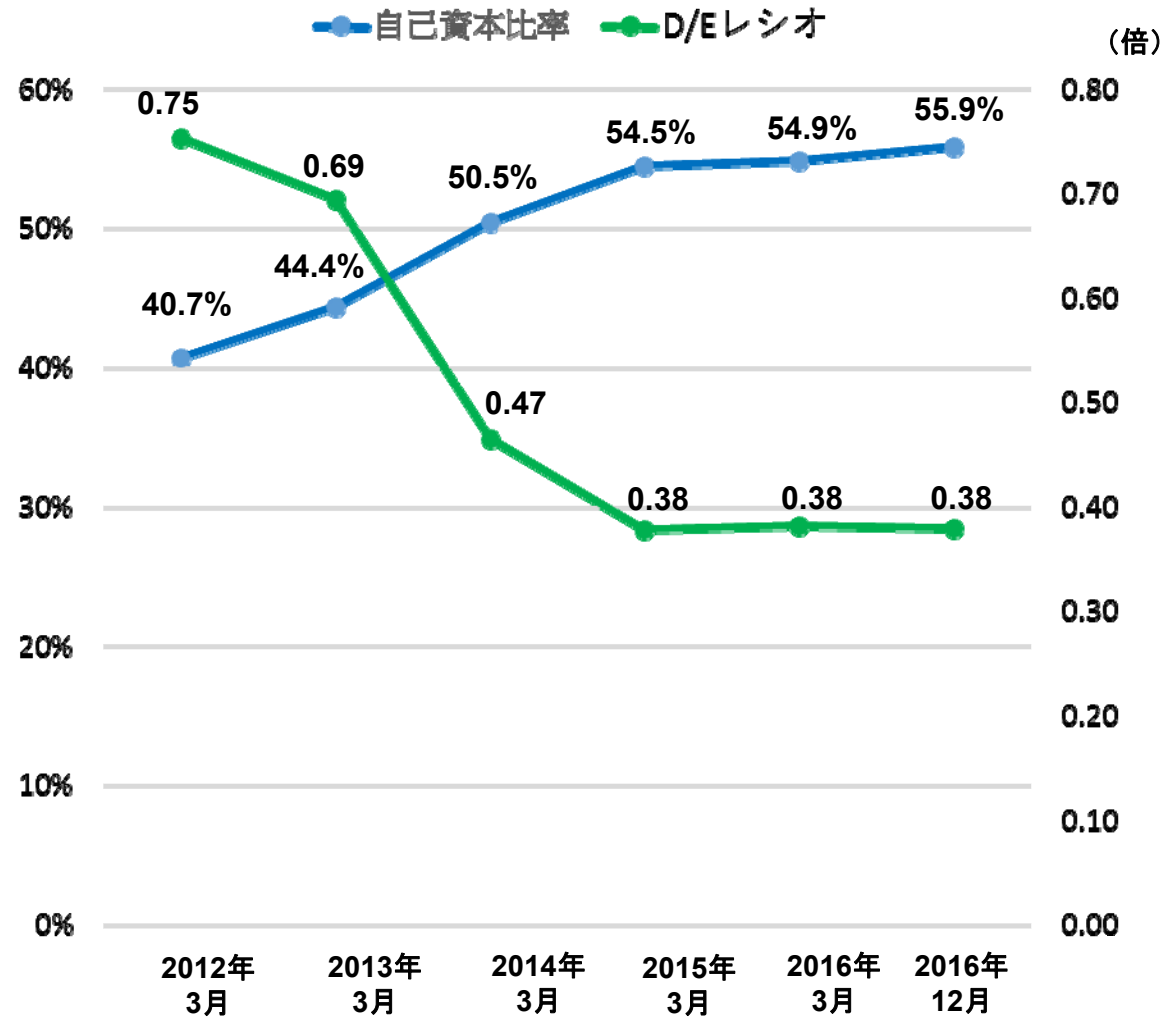
- ・EX-word RISEの新製品
- ・Lesson Pod(今までになかった対話型学習機)
- ・「英語応対能力検定」学習機の法人需要拡大



■ 手元流動資金・有利子負債



■ 自己資本比率・D/Eレシオ



■年金財政

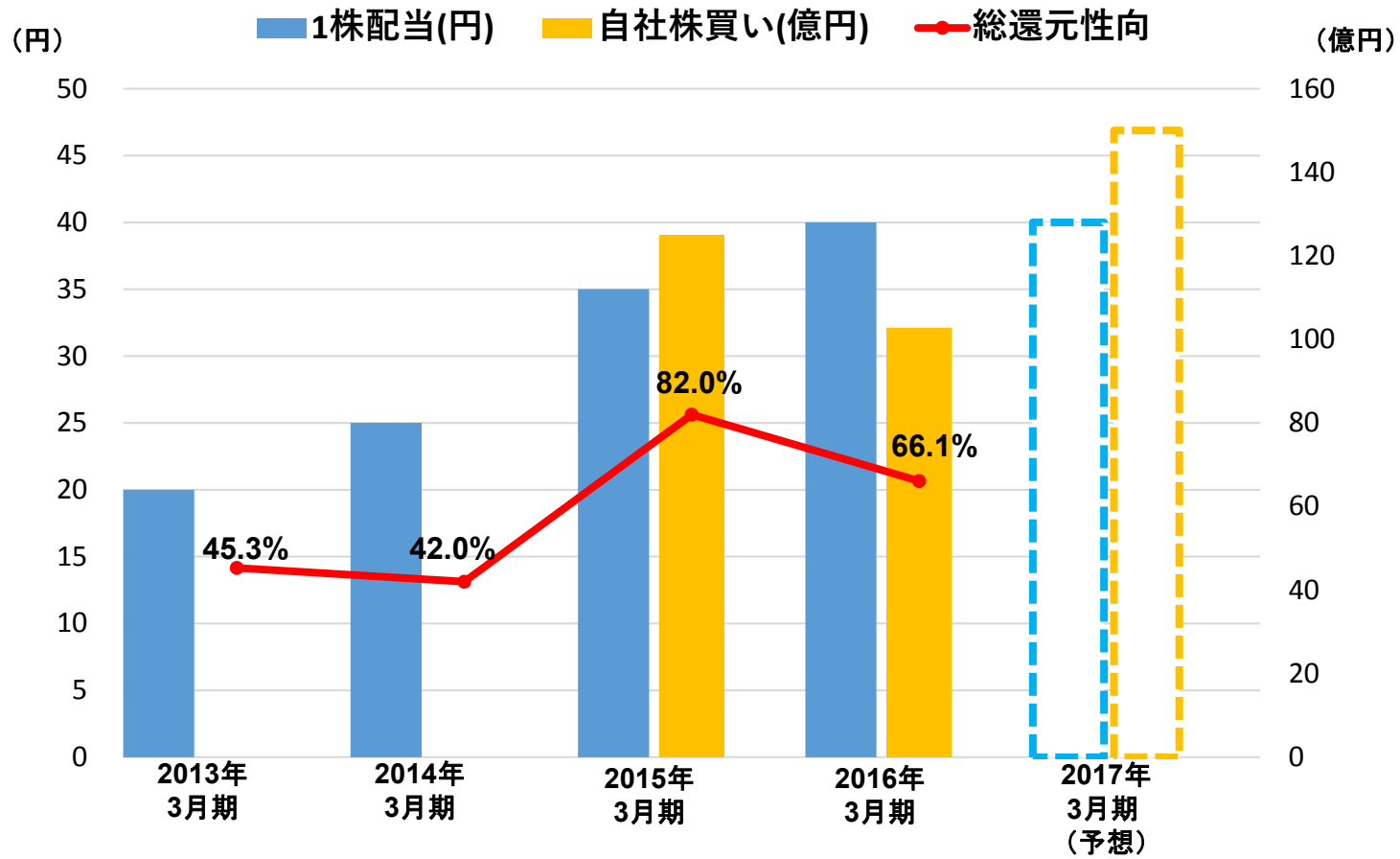
・年金財政は積立超過(財政健全化)を維持

	2015年3月	2016年3月	2016年12月
年金資産	714億円	653億円	693億円
退職給付債務(A)	585億円	576億円	593億円
積立超過額(B)	+129億円	+78億円	+99億円
超過割合(B÷A)	+22%	+14%	+17%



電機、精密30社
平均約 \ominus 30%

■ 1株配当・自社株買い・総還元性向



END